

林檎

岩手Mac友の会

Vol.8, No.4 1996.12.21

Iwate Macintosh Funclub



古希のマックユーザ

IMFメンバーが作成した盛岡市のホームページを見た米国女性の Mary Low Maxson さんからの電子メールが11月の初めに届きました。その一部を引用すると

I just found your home page and am glad you are using Macintosh. I have a power Mac myself. It was very natsukashi to read about Morioka. I have been there many times. Please say "hello" to the Ono family that does the wonderful Morioka katazome.

ホームページを作成したものとして嬉しいメッセージでした。そして何とマックユーザなのです。

MMM の帰路、くだんの小野染彩所を訪ね、電子メールのプリントをお渡しして、事情を説明したところ、Mary さんというのは、70歳 (!) 位の高齢で、3度ほど来盛し、「歳だからもう来られないかもしれない」と言い残して帰米し、3年くらい音信が無かったとのこと。そこ

で、お店の中で小野さんと一緒にデジタルカメラで撮った写真をインターネットで送ったところ、大変感激した様子で以下のような御礼のメールを頂きました。

Thank you, thank you, thank you!
How wonderful to have the picture over the Internet. It was so great to see Mr. Ono in his shop, and nice to see you. You must be very expert on the Macintosh now. When I figure out how to send a picture, I will send one of myself.

Mary Lou Maxson

どうですか？小野さんも驚いていましたが、古希 (米国ではこうは言わないが) の年齢で、Computer (Macintosh) を使い、Internet で盛岡市の Homepage を見つけ出し、E-mail を送るといふ素晴らしさ！そして後のメールにあるように更に使い方を学ぼうという姿勢！我々も負けてはいられませんね。最近感動した出来事でした。

PowerComputing & Be: BeOS Licensing Deal Announced

Power to ship the BeOS with every personal computer beginning in 1997. Check out the details...

- Press Release
- Key Questions/Answers
- PowerMac Compatibility Info



新OS登場？

Mac互換機で知られる Power Computing 社と BeOS で有名な Be 社が提

携しました。

PowerComputing は PowerPC 604e を 2 基搭載したマシンに BeOS を載せるとのこと。折しも Apple Computer 社から Power Macintosh 9500/180MP という PowerPC604e を 2 基搭載したマルチプロセッサモデルの発表がありましたが、MP の性能を引き出すソフトがまだ出揃わないため、現時点での魅力は半減です。Apple の新 OS の開発が思うように進まず、Be 社と提携の話があるとの噂が出ています。Apple 社は全面否定していますが、今後の成り行きが気になるところです。



Inside

MMM '96 報告	2
中国便り	6
私のMaclife (1)	10
私のMaclife (2)	12
山の花	14
編集後記	15
会員名簿	15
掲示板	16

MMM '96 Report.

By Y.Nomura.



ようこそMMMへ！
私が受付嬢の笹川 順子で～す。
参加費1万2千円を頂戴します。

日時：1996年11月16日（土）
17日（日）

場所：ぬくもりの里NUC
（栗石町長山52岩手山7）

参加者（申し込み順・敬称略）

青山 雅博	- Apple
角皆 進也	Apple
佐藤 圭	SRA
青木 淳	SRA
斉藤 秀一	IMF
土村 中	IMF
山本 淳	IMF
長土居 正弘	IMF
藤原 友行	IMF
徳富 亘	IMF
佐藤 学	IMF
笹川 順子	IMF
佐々木 明宏	IMF
白石 隆	IMF
夏目 俊	IMF
杉村 栄一	IMF
藤村 秀男	IMF
佐藤 護人	IMF
熊谷 知暁	IMF
成島 伸博	Free
野村 行憲	IMF

MMM '96プログラム（予定...）

11月16日（土曜日）

開始	時間	内容
14:00		集合時刻
14:00	30分	受付および会場準備
14:30	10分	開会（野村）
14:40	50分	Appleプレゼンテーション 挨拶：青山 雅博（アップルコンピュータ） 「アップルトレーニングキャラバンについて」 角皆 進也（ATC運営事務局長）
15:30	15分	（休憩）
15:45	45分	「Macが好きだからVW」 青木 淳（SRA）
16:30	5分	（休憩）
16:35	45分	「Javaを美味しくするRoaster」 佐藤 圭（SRA）
17:20	40分	（休憩&入浴）
18:00	60分	会食（食堂）
19:00	30分	「ファイルメーカーProによる会計システム他」 藤原 友行（IMF）
19:30	30分	「環境教育ソフト『ハル君の部屋』について」 佐々木 明宏（IMF）
20:00	30分	「AppleScriptを見直そう」 野村 行憲（IMF）
20:30	30分	「MS-Excelによるスケジューラの工夫」 徳富 亘（IMF）
21:00	15分	（休憩）
21:00	60分	一言スピーチ（全員）
22:15	無制限	オールナイト・サロン（自由参加）

11月17日（日曜日）

開始	時間	内容
09:00	5分	オリエンテーション
09:05	25分	クロージング・セッション （全参加者相互の意見交換）
09:30	30分	景品抽選会・あと片づけ
10:00		<<閉会・解散>>



左記のプログラムに従って進むかどうか、恒例のセッティングのゴタゴタに期待が集まった(?)のですが、今回は長土井さんの新兵器のプロジェクトが功を奏して、ほぼ予定どおりの14:45分に開会できました。感謝感謝。



最初は主催者の野村会長から開会宣言です。「えー、本日はお忙しい中、また天候が優れない中、MMM '96によろこそおいいただきました。

今回は自社の札幌でのイベントと重なり、最後まで参加が危ぶまれていたアップルコンピュータから、青山さんと角皆さんが、多忙の中お越しいただきましたし、この会を盛り上げるためにアップルグッズも沢山いただきましたので、明日の抽選会に期待してください。また、昨年に引き続き青木さん Dr.K さんの参加もいただきました。

さて、本日の予定は、お配りしたプログラムに従って進めたいと思っておりますが、その場の雰囲気、変更がありますので、あらかじめご了承願います。

会食の時刻だけは予定どおりに行いますので、定刻になりましたら3階の食堂に集まってください。」



さて、プログラムの最初はアップル社からのプレゼンテーションですが、プレゼンテーションに先立ち、青山課長からのご挨拶がありました。内容を要約すると

「1996年上期決算で黒字計上
現在 I'm Mac キャンペーン開催中。
新製品は札幌に行っているのですが、ここには持参できませんでしたが、そのかわりカタログを一杯持ってきましたので、好きなだけ持って行って下さい。

アップルではアップル・トレーニング・キャラバンの開催をを計画しており、本日はその説明を事務局長が行います。」



ということで、アップル・トレーニングキャラバンの事務局長である角皆(つのがい)進也さんから「アップル・トレーニングキャラバンについて」のお話がありました。またまた内容の要約です。

「ATC事務局長つのがいと申します。全国の各地でトレーニングキャラバンをUGと協力して行っています。地方自治体、商工会議所などの支援を受けて開催している例もあり、印刷団体との共催の例も有る。マックに触れる機会のすくない地

方都市を中心に寄り多くの人々にその機会を提供するのが目的。

10名分の機械を持ち込んで行っている。UGの人的ネットワークを活用して各種団体と共同で開催したい。目的はマックエバンジェリストの育成・UGの活性化と知名度の向上・アップルのメッセージを発信・地場産業育英と地域活性化である。

UGによるバックアップによってメンバーのステータスの向上ができれば両得である。

山梨の例 95年9月・参加者が多かったため3週間延長した。福岡の事例では印刷組合のプログラムと商工会議所のプログラムの2コース。

盛岡で印刷組合主催で開催が決まっている。この機会をぜひ活用していただきたい。地域に貢献することから国の補助金も受けられる。

来年の3月にこのトレーニングキャラバンの環境を持ち込む予定。12人が一人一台環境でできる。

また期日が近づいたら詳しくお話をする機会を作りたいので、IMFの皆さんのご理解とご協力をお願いしたい。」

角皆さんは、多忙のため宿泊せずに帰るとのことでしたが、このプレゼンテーションが終わってからも暫く残られて、青木さん、Dr.Kさんの発表を最後まで聞いてから東京に向かいました。

御大の青山さんは翌日には秋田に行くというハードスケジュールでしたが、最後までMMM '96のプログラムにおつき合いいただきました。

さて、ここで15分の休憩です。





かんぱあ〜い!

休憩が終わると、昨年米国のMac事情と Smalltalk のプレゼンテーションが好評だった青木さんの番です。

今年の発表タイトルは「Macが好きだからVW」です。

ちなみにVWとはVisual Works のこと。

自宅では Macintosh を使い、会社では Windows95 を使っている。このような生活では普通だと、両方のOS や環境をマスターする必要があり、頭が混乱するが、そんなことはしたくないので Smalltalk/ Visual Works を使っている。

たとえば、Windows95 では、Visual C++ と API, DLL OpenGL を使い、Mac では CW の C++ と Toolbox, QuickDraw3D となり、開発も大変になる。

これを解決するのは SmallTalk や Java などの仮想マシンという概念だ。

VisualWorks (Smalltalk) のプログラムは Windows と Mac でバイナリ互換。

会社も自宅もプログラミング環境が同じため二つ覚える必要なし。...

という内容をデモを交えながら講演していただきました。

またまた、ここで休憩です。...

次は、Dr.K こと佐藤 圭さんによる、Java の開発環境である Roaster の解説です。MMM 皆勤賞の Dr.K さんですが、発表は珍しいことなので期待しましょう。

発表のタイトルは「Java を美味しくするRoaster」ということで、今話題の Java 言語でプログラム (アプレット) を開発するための環境である Roaster というソフトの解説です。



「Java とは：アニメーションツールではなく、オブジェクト指向言語である。オブジェクト指向言語は手続きとデータが一緒になっている。Roaster は Java の開発環境である。ファイル形式は Project, Java(Source), .class (アプレット) の 3 種類がある。...

デモとして Webstar を起動して、今作ったばかりのアプレットを動作させてみる。JDK1.0.2 は日本語 (国際語) 対応になっていない。今度の JDK1.1 では対応されている予定。」

などを、実例を見せながら解説していただきましたが、いかにも楽しそうにマックを操っているところが印象的でした。

さて、前半はここで終了して入浴タイム & そしてお待ちかねの会食です。

この日、機材搬入のため早朝から大活躍の白石さんの発声で乾杯です。特別料理を追加したこの日のメニューはこのとおりっ。



参加できなかったかた、味を想像してヨダレをお楽しみください。結構量も有ってお腹が一杯です。



さて、夜の部のトップバッターは初登場の藤原 友行さん (IMF) です。発表タイトルは「ファイルメーカー Pro による会計システム他」です。

何とプレゼンテーションツールとしてもファイルメーカーを利用する徹底振りで、初めは淡々と話していましたが、だんだん佳境に入って独壇場となりました。それほど彼が作成した会計システムは 6 つのファイルで 6 MB もある素晴らしいもので、参加者の関心を集めていました。これは凄い。脱帽です。



続いて、佐々木 明宏さん(IMF)の「環境教育ソフト『ハル君の部屋』について」の発表です。

「ハル君の部屋」というのはディレクターベースで作成した環境教育ソフトであり、マルチメディアの特徴を生かして対話的で、地域に根差したものです。子供たちがコンピュータに触れて楽しかったという感じを持ってもらいたいし、体を通して環境問題に触れて考えてもらいたいというもの。

ゲームや絵日記を折り交ぜた、楽しくてためになるソフトのデモで、大変興味深いものでした。



次は徳富 亘さん(IMF) の発表で、「MS-Excelによるスケジューラの工夫」です。

野口悠紀雄著「超」整理法」シリーズの中で著者がコンピュータではできないし、不便だと指摘しているスケジュール管理と To-Do-List を MS-Excel を駆使して愛用している具体的な例を詳しく説明した。

このExcelのシートは Excel 5.0 では出来なくなったセル毎のメモをダブルクリックで呼び出すところがミソで、このため（動作が早い点もあって）Excel は4.0を利用している。

To-Do-List などは、ゆるやかな管理が出来てとても人間的なもので、工夫が感じられた発表でした。



ここで、飛び入りで白石さんの発表です。持参したマックでDOS/Vが走る DOS/Vカードの説明と、一押しソフトである「駅すばあと」の実演です。DOS/Vカードの説明では、DOS/V側の設定（デバイスドライバの設定など）は、付属マニュアルには全く記述が無く苦勞した話から、コンパネの説明、そしてDOS/Vのデモへと話がおよび、更にDOS/Vとマックの違い（Windows のここがダメ）と続きました。

駅すばあとの実演では、DOS/Vでのデモです。時刻（時刻表を検索して）と距離・時間・料金まで自動で表示されるもので、会場からも感嘆の声が。このソフトはマック版も登場予定とのこと。期待しましょう。



発表の最後は野村 行憲(IMF) の「AppleScript を見直そう」の発表です。AppleScript 数行で作ったクリエイターサインやファイルタイプを変更するプログラムと、フォルダの中身をリストアップして、それをテキストファイルに書き出すスクリプトを解説した。

オマケとして最近使い始めたワープロソフトの「レコライト」の優れた作表機能と、HTML変換機能も披露して、その便利さと有用性を実演を交えて解説した。

これでこの日の公式日程が終了しましたが、この時点ですでに22:00になっておりました。引き続き車座になって、参加者の一言(?)発表を行って、オールナイトサロンに直行です。

最後に会場を後にしたのは午前3時30分でした。(ふう...)



翌朝は昨夜の疲れも何のその。アップルさん、白石さんなどから提供されたアップルグッズなどの景品争奪の大じゃんけん大会で盛り上がり、今年のMMMの幕を閉じたのであります。関係者の皆さんご協力ありがとうございました。

最後に参加者の山本さんの感想を

1. 夕食後の「夜の部」は石にかじりついででも、はってでも参加するべきであった。(今回夕食時の飲み過ぎでダウンしてしまったおかげで、一番オイシイところを閉ざりがしてしまった)
2. めったにお目にかかれぬ豪華な夕食!(そのせいで飲み過ぎてしまったので、一概によろこべないところがあるけど)
3. 恒例のじゃんけん大会に供された例年にも増して素晴らしい賞品の数々。(それよりも、白石さんの勝負弱さがものすごく目だっていた。前日の酒量が足りなかったのだろうか)
4. と、楽しい集まりだから、まだ参加したことのない皆さん、来年は大量の参加申込をして幹事を困らせましょうよ。

この妙な感想のせいで逆に来年の参加者が減っても当局は一切関知しないのでそのつもりで。まつぞののやまもとでした。(なおこの書き込みは自動的に消滅する、といいなあ)

文と編集



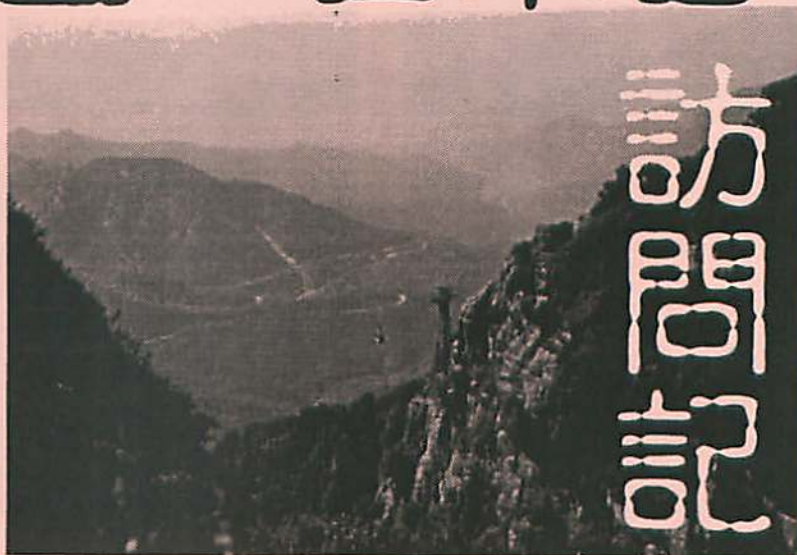
写真提供：斎藤 秀一、野村 行憲

藪 敏裕

中国・山東省



泰山より



今夏八月十六日から、十泊十一日の日程で中華人民共和国山東省を旅行してきました。私にとっては三度目の中国でしたが、いくたびにその発展のはやさには驚かされてしまいます。毎日ビール付けの弥次喜多道中でしたが、皆様のなにかの参考になればと思い、紙面を借りてご報告したいと思います。

北京市内

北京空港を降りると正面玄関をでて左手のタクシー乗り場からタクシーに乗ります。右手はいわゆる白タクのたまり場と言われています。私も、何人かの勧誘を受けましたが、それほど悪質には思いませんでした。しかし、その人の多さには閉口させられてしまいます。とにかく人人人しかも、タクシー乗り場に並んでいると割り込みは普通、いちいち怒ってはいくら時間があっても足りないと言う感じです。



北京市前門

済南市「黄河大橋」から見た黄河



千仏山から見た済南市

さて今回の旅行の行程ですが、まず成田から北京まで飛行機で行き一泊、翌朝北京から汽車で山東省の省都済南まで出かけ、そこから車で泰安、曲阜、臨沂、高密、青州と回り、再度済南にもどり北京経由で日本に帰国しました。成田出発にしたのは、飛行機代が仙台発よりもかなり安かったからです。少々高くても体力の消耗や時間のロスを考えれば、やはり仙台発の大連経由の全日空の方が結果としては安上がりのような気がします。大連で入国手続きが済んでしまいますから、北京ではもう国内扱いで大変楽だと言う気がします。成田はやはり盛岡からでは不便でした。



前門の入り口付近の店にて。この隣が都一処。

都一処

さて、北京での見所と言えは故宮と万里の長城でしょうが、今回は前回行ったため行きませんでした。そのかわり都一処という包子（パオズ）屋に行きました。ここは、康熙帝が夜宮殿を抜け出して町で遊んだ後、食事をしようと店を探したが見つからず、やっとの事でこの店を見つけて食事をした。以後その店は、都に一番の店と言う看板をつけることがゆるされ都一処と言われるようになったという店です。別の中国案内書などでは、値段が高すぎると非難されていましたが、それなりにうまいと思いました。腹一杯食べて日本円で千円程度でした。日本円の千円は中国人にしてみると一万円程度の価値があるとされていますから、やはり高いには高いでしょう。



都一処玄関にて

全衆徳

ところで、この都一処は東京で言えば浅草にでも当たる前門（チェンメン）にあります。隣には北京ダックで有名な全衆徳前門店があります。全衆徳はテンメンジャンと言うあま味噌を中国で初めて作ったことで有名な店です。テンメンジャンは、日本ではホイコウロウの味付けに使われることで知られていますが、本来は北京ダック用のたれです。ここの北京ダックは、文句無く絶品です。横浜の中華街でも食べたことがありますが、やはりこちらの方が格段においしかったです。



全衆徳にて 料理人がダックをさばっているところ



北京郊外 頤和園にて

山東省はみなさんご存じの通り、春秋戦国時代に孔子が出たことで有名な魯の国の都があった曲阜、また「泰山鳴動して鼠一匹」のことわざで有名な泰山などがある日本にもなじみの深い、古い歴史を持つ場所です。古代思想史を専門とするわたしにとっては、西安とともにかねてより一度行きたいと思っていたところです。



済南名物サソリの唐揚げ。メニューでは「蟹子」となっていたのでてっきり「かに」かと思っていたら、できたのはサソリの唐揚げでした。済南では、サソリは漢方薬として珍重されているとのことでした。

泰安・曲阜



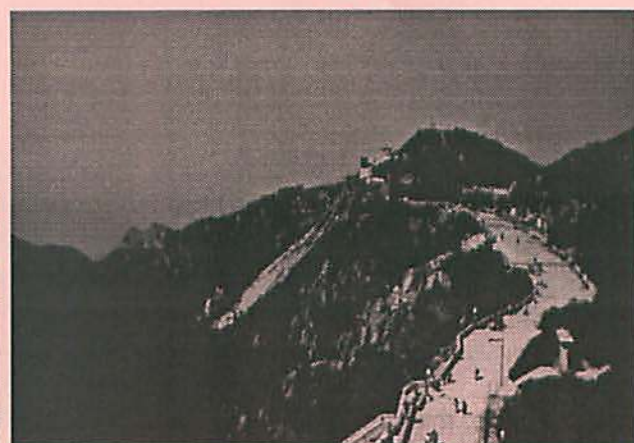
泰山山頂より泰安市内を望む。



泰山山頂天涯にて



曲阜の孔子廟にて。中国三大建築（北京の故宮、泰安の泰廟および曲阜孔子廟）の一つ。日本にはちょっと無いスケールです。強いて言えば、日本の皇居がこれに当たりますか。



泰山山頂の様子



二千数百年前孔子の弟子子貢が、孔子の死後三年間庵を作って喪に服したと言う場所。



泰安市内の泰廟正陽門



曲阜市内の人力自転車二時間ばかり
乗って20元ばかりでした。

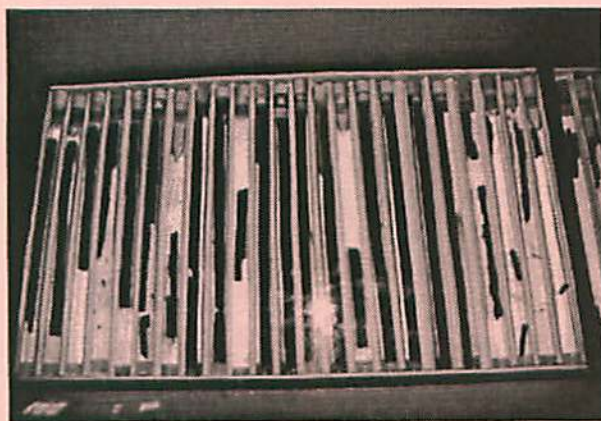


銀雀山博物館正門

臨沂・双羊鎮・青州

臨沂

臨沂は王羲之の故郷としてまた前漢時代の古墳の銀雀山から
が見つかったことで知られています。



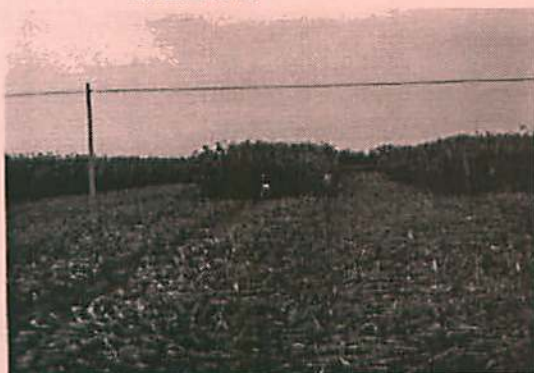
銀雀山竹簡

銀雀山からは、竹簡に書かれた「孫子兵法」と「孫濱兵法」
の二種類の兵法書が発見され、このうち前者が原行本の孫子と
一致しました。従来の伝承では孫子は二人いたとされていまし
たが、伝本が伝わらず存在が疑われていたもう一方の孫子の存
在が確認されました。

以上簡単ですが、山東省訪問記を終わります。カラーでご覧
になりたい方はIMFのホームページ藪敏裕の部屋をご覧ください。

Edited by Chiaki Kumagai

双羊鎮のコウリヤン畑



双羊鎮の並木道

青州駝山の六朝時代の仏像



Macは、愛だ!!??

愛愛

聖夜に贈る

私のMac Life 宇佐美 公生

車は雨風をしのいで走ればよい。ときどきそんなふう思うことがある。年とったせいだろうか。むかし1000ccの小さなオンボロ車に乗っていたときは、いとおむようによくワックスを掛け、エンジンの調子を見、あれこれといじり回したものでした。クラッチを切り、ギアを下げエンジン音を聞きながら、回転を合わせてクラッチをつなぐ。非力なエンジンがグオーンとうなりをあげ、のろのろと加速していく。そんな車でも、「うん頑張っているな!」と、まるで年を食った愛馬に鞭打つようにして結構あちこち走り回ったものでした。その後何台か車を乗り継いだけど、どれもいってみれば小さなマニュアル車で、しかも窓は手で回して開けるやつだった。

その私が、3年前にある事情で初めて4WD、2000cc、オートマチック、電動ガラス、オートエアコンの車を買った。

そして、そのころちょうどコンピュータもマックに乗り換えた。それまで、約9年間コンピュータは、98マシンを使ってきた。それこそ98を買った当時は最初の冬のボーナスが全部とんでしまったくらいなので、だいぶ高かったはずである。config.sysがどうのAuto.execがどうのとわけのわからぬ暗号の罫に振り回されながら、それでも必要なことが

できればいいんだとマニュアル本をひもといて設定をし、ボードをさし込み、ROMのチップを入れ替え、メモリーを買い足し、ハードディスクをつけ・・・随分と長いこと使ってきた。そのCPU V30のマシンは未だに健在である。車でいえばOHVなみの古い心臓のその機械は、エンコすることもなくとりあえず、十分私の文房具になってきた。文系の仕事をしている私にとっては膨大な計算をするわけでもなかったため、周囲で286、386、486とCPUの性能を上げたマシンが次々と登場しても、メモリを少し増やしてキャッシュをいくらかとれば、キャラクタベースのマシンは十分早く使えたのです。

でも、マッキントッシュは気になっていました。あの小さく控えめで洗練されたスタイル。フロッピーも一つしか入らず、マウス一つでいろんなことができる。複数のソフトを同時に立ちあげながら、それらの間で、簡単にデータの移動ができる。机の端っことにおいてみたいとずっと思っていました。もともと体に似合わず小さな道具が好きで私は、いつかRover Miniに乗ってみたい、

という思いと並んで、いつかはマックを手許におきたいという思いが、静かに深く心の中に刻まれたのです。(ただディスプレイの文字が見づらかったのが、あの当時すぐに買うのを躊躇させた点でした。) Rover Miniの方は、自分の体に小さすぎることをその後悲しくも思い知らされ、昔からの夢はあっさり潰えることになったのですが、マックの方は実現しました。ただし手にはいったのは、ClassicではなくIci。(後にある雑誌で、これはマックの古い名器の一つというのを読んで、何となくうれしくなりました。)

もともとマックに手を出すことになったのは、インターネットのせいです。ネットワークがつながった当初は、マックの独壇場でした。そのほかの仕事も、マックはまるでオー





トマチックの車に乗っているような簡単さでした。コンピュータの中のシステムの仕組みがどんな具合になっていて、どんな仕事が行なわれているか分からないまま、とにかく「マックは愛だ！」という先達のアドバイスを信じて、フリーズしてもニコリ笑って再起動。デスクトップを書き換えてあとは、お祈り……。直らなかつたら愛が足りなかつたんだと反省し、友人の慈愛あふれるアドバイスにすなおに耳を傾ける。マニュアルもろくに読まず、それで十分でした。

少しづつ愛の蜜月が軋み始めたのは、自宅Duo 250を買ってからです。まずこれまでの98のデータをマックに落とそうと、Apple File Exchangeを使おうとするとフリーズする。マニュアルにはできると書いてあるのだからきっとこの個体の欠陥だ。販売店に頼んだら、ボードを交換するというので、いきなり取り上げられ、約一ヶ月半たって戻ってきたら、また同じ症状が出る。Appleに聞いても、そんなはずはないとそっけない答え。結局Express Modemとの相性が問題だという情報が届いた時は、Duoを買ってから3カ月が過ぎていました。そして友人は僕が250を買ったのと変わらぬ値段で、Duo 280を手にし、「どうだ早いだろう」と見せるのです。ムムムム……。早い！。その間にも、締め切りまぎわになってあせって書いた大量の文書

を、フリーズによって四次元の世界に吹き飛ばしてしまったことが何度かありました。

それでも、早いマックに背を向け、しばらくは、漢字Talk7.1の世界でかろうじて安定した関係を維持してきました。しかし

今年になって、にわか周囲が、わけの分からぬ話になっていることに気づき、しかも昔自分に愛の手ほどきをしてくれた人たちが、ウィンドウズやUnixなどという世界に移住してしまっていて、「今どき愛ははやらない」などというのです。突然、寂しくなってDuoをPower PCのボードに交換し、余勢を駆って、安売りの8500まで買ってしまいました。しかしこの2年ほどで時代は明らかに進んでいたのです。システムの仕組みが違う、これまでのソフトが使えない、ソフトどうしの相性が悪い……。プリンタードライバが使えないなどなど。open doc だとかcyber doc だとか？うーんわからん。今、私のマックは、大震災のあとの瓦礫の山と復興の鎗音の聞こえる町に変貌してしまいました。

マックは小生にとってブラックボックスだらけのコンピュータです。どういうわけでフリーズするのか。どういうわけでエラーが出るのかわからない。それは私にとって町全体の俯瞰図を知らずに、あちこちの小路・裏道を右往左往するようなイメージです。ときどき行き止まりの小路にはいつてフリーズ、再起動。でもたしかに裏道はおもしろいし、通りなれてしまえば、実に快適で目的地まで簡単に行ける。で、そういうところにしゃれた店なんかがあったりする。横着な私は新しい小

路を探索することに疲れ、その店の常連になって、いつか居ついてしまつて2年、店を出たら町が大規模改修で、あつという間に通りも町も変わっていたという感じです。アレレ、ここはどこ？私はだれ？

でも、マックを好きで使っている人って、そういう裏道探索が好きで、行き交う人とあちこちの小路の情報を交換し、いろいろ探索しているうちにどういうわけか、町全体の俯瞰的イメージが身につけてしまっている人という感じです。そんな人はどんな迷路のような暗い小路にはいっても、ちゃんと大通りに戻れる。(でも私の場合は最悪！道に迷ったら、町の図面の引き直し=イニシャライズからです。しかも図面の引き方を間違えると、またフリーズ。なんだかわけの分からぬところに不明なファイルを残していそうで、まっさらにしてみたくなる欲望に駆られる、そんな毎日です。)

昔、のんびりしたイメージに憧れて友人の魚釣りについて行き、ろくに餌も変えずに、一日糸をたれてたので、友人にあきれられたのを思い出しました。釣りは横着ではできないのだそうです。

魚釣りとマック使いは横着ではダメ……。ね、Sさん。

そして愛も、日々の実にまめで繊細で、好奇心旺盛で堅実な作業に裏打ちされなければならないのだ、ということ思い出されているこの頃です。

今かろうじて、我が町の復興・再建に取り組めているのは、IMFのみなさんの愛のおかげです。多謝！！

Edited by Chiaki Kumagai

私のMac Life

瀬谷 圭太

I Love Mac., Only You!

—プロローグ—

Mac友の会の皆様、こんにちは。瀬谷圭太です。Mac友の会には96年の春からお世話になっています。会員になりMEGUMIにも登録していただいたにもかかわらず、財政難のために未だにモデムが買えないでいる私が、この原稿を書いているのかと思いつつ書いている次第であります。あまり、というよりもほとんど友の会に参加していないので、まずは自己紹介、そして私のMac Lifeを書いていこうと思います。

—College Life—

現在、岩手大学教育学部国語科漢文学研究室4年次です。(我が研究室の担当教官はMac友の会の編集長、とてもダンディーな藪先生です。)生まれは福島県郡山市で、育ちは宮城県仙台市です。出身高校は仙台南高校です。人に自慢できることは小学校からやっているサッカーです。中学校までは弱小チームに所属していましたが、高校では健闘しまして県ベスト16入り。大学でも奮闘し東北大会で準優勝までいきました。(ちなみにポジションはディフェンダー)普通、大学生というと適当に暮らして、女の子といちゃいちゃしてラクチンな生活を送るもの

だと思われがちですが、サッカーのおかげで真実一路、硬派路線まっしぐら?の生活でした。そのため体がかなり頑丈になってしまいました。体の方もサッカーづけですが、頭の方もサッカーだらけでかなりマニアックな情報まで知っています。(自称知識日本一!)今は小学生と中学生の指導に力を入れています。学生の本分?であるコンパではなくて、お勉強の方は、現在卒業論文の作成に追われる日々です。テーマは「韓非子」という中国古代の書物についてです。進路につきましては、来春から岩手で小学校の教員をする予定です。

—Yabu—

さて長い自己紹介も終わったので、本題に入ります。Macと私との出会いは大学3年生のときでした。藪先生に連れられて、白百合学園での講習会に参加して初めてMacにふれました。そのときの感想としましては、「ほー、なかなかおもしろいではないか!」というものでした。その後ことあるごとに、藪先生は「せや、Macはいいぞ!」と私に呪文をかけるかのようにさ

さやき、最後には切り札として「卒論はMacで書かないと単位はださん!!」と声高らかに宣言しました。このように洗脳され、自分でも「やっぱり時代はMacだよな」と思うようになり、ついには買ってしまった。Macの機種はPerforma588でメモリを16MBにし、プリンタはHPのDesk





Writer320を購入しました。(私の大蔵省が財政難でこれが精一杯でした・・・)

—Star—

購入後は大学のレポートを書くのが楽になりました。また、レポートをMacで書いて提出すると、友達「おい、瀬谷。お前ワープロ使えるのかよ？」私「いや、Macだよ(さりげなく)」友達「何!Mac持って

んのかよー(目をきらきらさせて羨望のまなざしで)」私「ん、ああ、持ってるよ。結構おもしろいぜ!」などと一躍仲間の中でスターダムにのぼってしまいました。これもすべてMacのおかげ♡

—Children—

また、先日教育実習がありました。そこでもMacは大活躍でした。研究授業があったのですが、その指導案を作ったり、子どもたちの会話に「先生Mac使っているんですよ!」なんていうと、パソコンに詳しい子が集まってきて、「僕もできるんだー」と話が弾みました。子どもたちはかなり、コンピューターに興味を持っているようで、もっとMacを勉強しないとイケないーと思いました。

—Bigger—

今は、卒論で毎日使用しています。ORGAIやMacWORDを使っています。ただ、使っているとっててもその機能を完璧に把握していない状況のため、我が師匠の藪先生と一日15、6

時間Macを使っているヘビーユーザーの熊谷さんにことあるごとに「そんなことも分からないのか!(このバカたれ!!)」と言うような冷やかな視線を浴びる毎日です。(この前も、某ビギナーズ雑誌を読んでいたら「そんなの読んでいるようではまだまだだね」といわれてしまった・・・)最近感動したのは、ファイルメーカーとクラリスワークスを使ってうまく文献目録ができるということを知ったことです。あと、Ram Doublerでメモリが倍になったようになるのには驚きました。このあたりを読むと分かるように超ビギナーの私ですが、今後の目標としましては、教師になるので成績管理をMacですること、音楽の授業でDTMソフトを使い授業を展開したいと考えています。教員生活にうまくMacを生かしていこうと考えています。しかし、県内の小・中学校はまだMacが普及していないようなので不安です。(藪先生が「まかしとけ!」といっているの心配ない?)

—エピローグ—

自分のレベルの目標としましては、子どもたちに使い方をしっかり教えられるようになることと、私の師匠の藪先生とヘヴィーマッカーの熊谷さんに「これは、こう使うんだぜ!」と勝ち誇った顔でニヤリと笑いながら指導することです。千里の道も一歩から。

まだまだビギナーの域を脱出できないでいますが、じっくりとゆっくりとマイペースでStep Upしていこうと思います。友の会のみなさんご指導よろしくお願いします!!!

Edited by Chiaki Kumagai



今年の6月、先輩の先生と早池峰に行き、下山している時に先輩がウラシマツツジを見つけてくれました。登っているときは寒くて見えませんが、日が昇って暖かくなってきたら花が開きはじめて、やっと見えるようになったようです。

この花はわい性低木で地上数センチの高さから下向きに咲くので目立ちませんし、咲いている時期が早くしかも期間が短いのでこれまで逢うことが出来ませんでした。

黄色っぽい可愛らしい花で、壺型ではありますがのどが細く、タツノオトシゴの頭に似ているという人もおります。ここまできると浦島太郎



と関係があるのではと思いますが、葉の裏側の網目の葉脈が目立つことから裏縞ツツジと言われるようになったようです。秋には美しく紅葉するそうで、これまで出会っていてもウラシマツツジの紅葉と気がつかない

で通り過ぎていたと思います。今度秋には是非紅葉を見たいと思っています。

前号でエゾノツガザクラをご紹介しましたが、それに次いで見たかった、会いたかった花です。今年はこの二つの花に出会うことが出来て本当に幸せです。また秋は例年になく紅葉が素晴らしく、八幡平に毎週通い良い写真が撮れました。

今年は軽い35mmカメラでしたが、来年は初めから中型カメラをかついで、よりよい写真に挑戦します。



編集後記



編集長

今回は岩大のオンパレードになってしまいました。次回は、みなさまの投稿をお待ちしています。



今年ウラシマツツジ、エゾノツガザクラに会うことが出来て素晴らしい年でした。来年も更なる出会いを求めて山に行きたいと思います。 佐藤



今年のMMMも無事に終わってホッとしたのもつかの間、林檎にその報告をまとめる仕事が残っていました。今回は記念すべき通算40号の発行ができて嬉しい新年を迎えられそうです。皆さん良いお年を！

野村



数編集長の手となり、足となり働かせていただきました。今後も続きそうです！

熊谷



今回は、編集の進行を見守る役回りでした。データの種類がふえると、管理が大変ですね。いやあ勉強になりました。

水沢 佐藤



最終編集会議によろしく何とか出席できて”ほっ！”としています。皆さんの中で編集に興味のある方は、参加してください。お待ちしております。

土村

会員名簿

浅田 昌稔	IMF035	北上市	白沢 道生	IMF207	盛岡市
我妻 則明	IMF241	盛岡市	菅原 忠雄	IMF124	花巻市
安倍 富士男	IMF230	盛岡市	杉村 栄一	IMF036	盛岡市
阿部 好晴	IMF203	盛岡市	杉村 峰秀	IMF113	花巻市
一井 誠	IMF122	盛岡市	鈴木 裕之		盛岡市
伊藤 光司	IMF077	花巻市	瀬谷 圭太	IMF264	盛岡市
伊藤 誠	IMF274	盛岡市	外川 正浩	IMF244	盛岡市
井上 博幸	IMF239	盛岡市	高島 浩一郎	IMF012	盛岡市
祝田 明子	IMF227	盛岡市	高橋 晃	IMF031	盛岡市
宇佐美 公生	IMF228	盛岡市	高橋 丈	IMF261	北上市
大木 哲	IMF206	盛岡市	高橋 哲矢	IMF260	西根町
沖野 覚	IMF044	二戸市	高橋 浩幸	IMF091	盛岡市
小野寺 一郎	IMF248	紫波町	田村 修	IMF242	盛岡市
神 達宏	IMF229	盛岡市	千葉 浩保	IMF126	盛岡市
菅野 研一	IMF211	宮古市	塚野 弘明	IMF204	盛岡市
菅野 卓矢	IMF006	盛岡市	土村 中	admin	盛岡市
菊池 弘光	IMF269	花巻市	寺田 明功	IMF068	弘前市
木村 栄子	IMF268	盛岡市	照井 芳夫	IMF026	花巻市
木村 直弘	IMF270	盛岡市	遠山 明人	IMF200	盛岡市
工藤 まさき	IMF275	二戸市	徳富 亘	IMF015	花巻市
工藤 聡	IMF094	秋田市	戸田 文彦	IMF234	盛岡市
國光 勝美	IMF243	盛岡市	戸塚 孝徳		盛岡市
久保 司	IMF235	山形市	中島 恵助	IMF236	盛岡市
熊谷 知曉	IMF273	盛岡市	長土 居 正弘	IMF087	盛岡市
熊谷 朋也	IMF008	秋田市	中野 俊史	IMF254	盛岡市
熊谷 雅也	IMF249	大船渡市	夏目 俊	IMF276	盛岡市
剣持 ゆかり		東京都	西島 光茂	IMF017	盛岡市
後藤 百合子	IMF271	盛岡市	根本 聡彦	IMF042	札幌市
小松 寿丸	IMF102	仙台市	野村 行彦	IMF000	盛岡市
今田 莞爾	IMF256	盛岡市	長谷川 晃	IMF240	花巻市
近藤 英一	IMF226	紫波町	花立 純	IMF246	矢巾町
斎藤 秀博	IMF109	盛岡市	濱 朋哉	IMF263	山山村
斎藤 博之	IMF251	盛岡市	福井 和彦	IMF218	盛岡市
斎藤 裕	IMF262	紫波郡	福士 喜兵衛		盛岡市
桜井 瑞子	IMF267	滝沢村	福田 健次	IMF005	盛岡市
笹川 順子	IMF220	盛岡市	藤澤 義栄	IMF209	花巻市
佐々木 明宏	IMF088	盛岡市	藤村 秀男		滝沢村
佐々木 幸司	IMF033	盛岡市	藤村 洋	IMF028	盛岡市
佐々木 雄久	IMF202	岩手町	藤原 友行	IMF265	盛岡市
佐々木 治男	IMF237	矢巾町	古川 裕一	IMF225	盛岡市
佐々木 秀輝	IMF258	西根町	本多 健一郎	IMF025	盛岡市
佐々木 文雄		紫波町	三浦 吉範		盛岡市
佐々木 眞嗣	IMF247	盛岡市	村上 厚子	IMF257	盛岡市
佐々木 吉信	IMF215	盛岡市	村上 宏文	IMF099	盛岡市
佐藤 顕	IMF093	仙台市	村上 弘行	IMF049	盛岡市
佐藤 雅子		盛岡市	村田 知己	IMF266	盛岡市
佐藤 学	IMF119	宮守村	柳田 久弥	IMF231	石鳥谷町
佐藤 護人	IMF010	盛岡市	敷 敏裕	IMF214	盛岡市
佐藤 安男	IMF232	盛岡市	山田 政行		盛岡市
渋谷 昌二郎	IMF238	二戸市	山本 淳	IMF034	盛岡市
清水 昭子	IMF272	北上市	吉田 勇一	IMF255	滝沢村
十文字 保雄	IMF277	二戸市	吉永 國光	IMF259	盛岡市
白石 茂	IMF201	盛岡市	渡辺 浩志	IMF069	能代市
白石 隆	IMF039	盛岡市		(1996.12.10.現在)	

会費納入先

振込先(郵便貯金総合口座)

記号:18370 番号:11993671

名義:岩手Mac友の会 笹川順子

なお、振り込まれた場合は、住所・氏名・連絡先などを別途ご連絡ください。振り込み通知書だけでは情報が不足し、どなたの振り込みか確認できない場合がありますので、よろしくお願ひいたします。

例会案内

2月 15日(土)

3月 15日(土)

14:00 開場

15:00 例会

17:30 解散

場所:

岩手大学教育実践研究指導センター

一月の例会

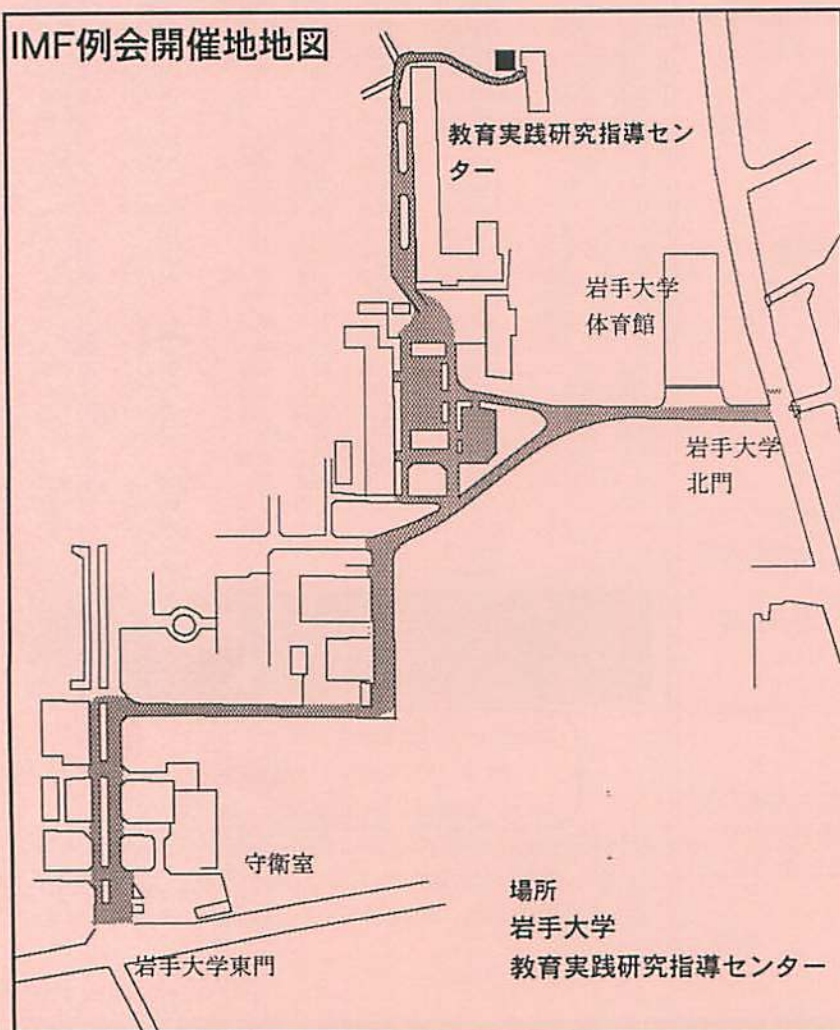
1月 18日(土)の例会は、岩手大学が大学入試センター試験のため閉鎖されますので、場所を変更して行う予定です。

詳細は、めぐみにてお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。



例会の後で、場所を変えて編集会議を行っています。お時間のある方ご一緒しませんか?とっても楽しいですよ!とても勉強になりますよ。

IMF例会開催地地図



「林檎」40号は...

First Class ATOK8
Color Magician EG-Bridge
EG-Word Freehand
HyperTerm Illustrator
MacPaint MacVJE
MacWrite NinjaTerm
NISUS PageMaker
PhotoShop SoloWiter
StreamLine SuperPaint
等で作ったものをPageMakerで
まとめLaserWriter, Microline
でプリントしました。

「林檎」第40号 1996/12/21

編集長 藪 敏裕

発行 岩手Mac友の会

代表者 野村 行憲

020-01盛岡市北松園 3-34-2

非売品